

「手書き」の効用、業界挙げて訴求を

店頭での訴求提案 エコール流通グループ 見本市来場者に資料配布

「鉛筆、ボールペン、筆などの筆記具、ノート・手帳・消しゴム販売量が落ちています。その要因は少子化だけではなく、スマホ機能の充実やタブレット、デジタル学習が進んでいるなどの要因が複合的に進んでいると考えられます」

「書く側の『筆記具』と書かれる側の『紙製品』の売れ行きが鈍ると、その他関連文具全体も影響を受けるわけで、文具業界の危

機でもあるわけです。この危機を打破するためにはユーザーに書くこと描くことの大切さを再認識してもらう必要があります。容易ではありませんが、メーカー・卸・小売が協力して消費者に伝える地道な努力が必要ではないかと考えました」

また、見本市では、「書く・描く側の『筆記具』と書かれる側の『紙製品』と効果的な伝え方」(文具ブランド・福島慎子氏)と題したセミナーも開催した。

成などの様々なアプリケーションが使えるようになってきた。文化庁の世論調査によると、「日常生活において、文字を手書きする機会が減っている」という人が7割に達している。また、様々なビジネス書や記事でも手書きの良さが語られており、記憶力、創造性、考える力の向上や、目標達成、不安感の減少など、多くのメリットが謳われているが、これらの多くは著者の個人的な経験から定性的に語られているものが多く、科学的根拠という点では説得力が不足していた。

このような背景の中、CANは2015年にアナログ価値研究会を組織し、手書きの価値に関する研究を行なった。その後も研究を継続し、2021年に東京大学の酒井研究室と共同

パイロット 手書きの良さ検証 手書き価値研究会に参画

株式会社パイロットコーポレーション伊藤秀社長、東京都は、一般社団法人応用脳科学コンソーシアム(略称CAN)が主体となり発足した、手書きの持つ様々な価値に光を当てるプロジェクト「手書き価値研究会」に参画した。

「手書き価値研究会」には同社のほか、東京大学大学院総合文化研究科酒井研究室、日本紙パルプ商事、

エコール流通グループで高い評価を受けたショウワノートの「手書き」効果をアピールするパネル

へんてるアーツ実践 手書きの楽しさ店頭で発信

へんてる株式会社(高橋智和社長、東京都)は、製品の垣根を越えて書く・描くことそのものの価値を広めていく活動「Pentel Arts」(へんてるアーツ)を始め、手書きを、贈ろう」をコンセプトに、ワークショップや店頭展開、プロモーションを展開している。

今回、手書き・手描きの楽しさを店頭から消費者に

伝えるというのを目的として9月13日~11月13日、「第1回Pentel Arts」(へんてるアーツ)店頭陳列コンテストを実施、全国から16店舗の応募があった。

審査のポイントは、「お客様が『書・描』いてみたい」とワクワクする売り場になっている」「手書き・手描きの装飾に創意工夫が

できる人を目指すならやっぱり「手書き」。

タブレットにメモしたのに記憶になく、手帳に書いた事は覚えている。そんな経験ありませんか？

脳活動は「キーボードでタイピングしているとき」より、「手書きしているとき」のほうが活発だったとの報告もあります。

〇〇〇〇ここで…やっぱり学習帳！〇〇〇〇

【絵を描く効果】

最近、絵を描きましたか？

絵へのメリット

- ・集中力が増す
- ・右脳が鍛えられる
- ・記憶力が向上する
- ・読解力が上がる
- ・想像力が豊かになる
- ・感情を表現できる

そんな方でも、気軽に始められる方法があります！それは…「ぬりえ」です！

「Pentel Arts」(へんてるアーツ)店頭陳列コンテストを実施、全国から16店舗の応募があった。

審査のポイントは、「お客様が『書・描』いてみたい」とワクワクする売り場になっている」「手書き・手描きの装飾に創意工夫が

かがし屋

販売店が工夫を凝らした売り場を展開、手書き・手描きもたらす温もりや、さまざまな幸せを伝えた。表彰店舗は次の通り。

【アランプリ】かがし屋

手書きでエールプロジェクトに協賛

また、同社では、「子どもたちと選手を手書きメッセージでつなぐ」をテーマに、プロバスケケットボールチーム・アルバルク東京が主催する、小学生を対象とした「手書きでエール！」プロジェクトに協賛した。このプロジェクトは、アルバルク東京アカデミーのコーチによるバスケット教室の後に、パイロットのオリジナルカードを使って選手へ手書きの応援メッセージを送る体験型企画で、送られたメッセージは選手が受けた後に各小学校へサインとともに返信され、手書きメッセージを通して選手とコミュニケーションを実現する。

実施期間は1月26日、都内の小学校高学年を対象に実施している。

紙に書いて伝えよう 恒例のラブレターコンテスト開催

日本製紙連合会が主催、全日本製紙工業組合(黒田章裕理事長、略称・全紙)が協賛する、紙に書いて気持ちを伝えることの良さや効果を伝える「その気さや効果を再認識してもらい、紙に書いて伝えよう」ラブレターコンテストを継続開催、今年は1月17日~2月28日まで実施している。

同コンテストは、携帯電話やメールといったデジタルツールのコ



協賛の全紙工からイベント参加者には抽選でノート、封筒、メモ帳などの紙製品詰め合わせセットなどがプレゼントされた。初開催の大阪イベント会場。

11月15日は「いいインコの日」

sedia

since 1932

www.sedia.co.jp

- 中津店(大分県中津市) 【華ケランプリ】TSUTSUYA A木野店(北海道河東郡音更町)、ブックセンターエスト門司大里店(福岡県北九州市)
- 【マツトホップ賞】石丸文行堂行橋店(福岡県行橋市)、住まいる館マルトク(山形県最上郡最上町)、フタバ図書TSUTSUYA A TEREA広島府中店(広島県安芸郡府中町)
- 【筆touchサインペン賞】インク港北東急SC店(神奈川県横浜)、シモジマ関東支社ハッケージブラザ大宮店(埼玉県さい

たま市)、文具のみつはし(北海道札幌市)

【アートフラッシュ賞】上野文具本店(栃木県宇都宮市)、豊明事務機ジムキング平和が丘店(愛知県名古屋)、フタバ図書TEREAイオンモール福岡店(福岡県糟屋郡粕屋町)

参加者が会場に配布された専用のレターセットにラブレターを書き、会場に設置されたハート型のポストに投函。参加者には抽選で豪華賞品をプレゼント。全紙工はノートや封筒、メモ帳などの紙製品詰め合わせセットを提供した。

人から人へ心を伝える ハート紙製品

名前・封筒・はがき・カード・賞状・たしざー！環境対応製品

ハート株式会社

www.heart-group.co.jp

HAGURUMA

